

会議録		
会議の名称	第2回八千代町立中学校統合準備委員会	
日時	令和7年11月28日(金)午後6時30分～午後7時16分	
場所	八千代町役場 4階大会議室	
出席者	委員	上野委員長、太田副委員長、大久保委員、大久保委員 生井委員、上野委員、高野委員、相田委員、斉藤委員 矢中委員、國府田委員、沢木委員、坂野委員、篠山委員 松村委員、北島委員、川田委員、鴨日委員、木瀬委員
	事務局	関教育長、小林教育部長、関学校教育課長 秋葉学校教育課長補佐兼庶務係長、幸田主任
審議経過		
<p>1 開会</p> <p>司会(学校教育課長): それでは、ただいまより第2回八千代町立中学校統合準備委員会を開会いたします。</p> <p>2 挨拶</p> <p>司会(学校教育課長): はじめに、上野委員長よりご挨拶をいただきます。委員長、よろしくお願いいたします。</p> <p>委員長: 改めまして、こんばんは。夜分遅くお疲れのところ、そしてお寒い中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>八千代町立中学校統合準備委員会につきましては2回目ということで、本日は、7月に1回目を開催しました時に皆さんのご承認をいただきました3つの専門部会、それらの活動について5か月ほど活動をいただきました。その進捗状況ということで本日も報告をいただき、そして皆さんのご意見を賜るという内容でございますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>新しい中学校をつくるということで地域の皆さんの注目の的だということでございますので、慎重なご審議のほど、よろしくお願いいたします。私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>なお、本日は野村町長が急遽出席してくださいましたので、よろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>簡単ですが挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>司会(学校教育課長): ありがとうございます。それでは本日、野村町長にご出席</p>		

いただいておりますので、ご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

町長：改めましてこんばんは、野村でございます。今日は第2回目の統合準備委員会ということで出席させていただきました。よろしくお願いいたします。

日頃から、学校の問題について、統合問題について、委員さん方にはご尽力ご協力をいただき深い深い取り組みをしていただいております、改めまして、ここまでの取り組みにつきまして感謝申し上げます。ありがとうございます。

先頃、秋まつりがありました。その時に幼稚園の子どもたちが防火の誓いなどで、2つの幼稚園が来てくれました。そこで挨拶をする機会がありまして、子どもたちの成長を約束できるようなそういう教育環境をこれから八千代町で作っていくんだ、ということ保護者の皆さんの前でお話をさせていただきました。中には黙っている方もいましたが良い学校を作ってくれというそういう話も聞きました。小さい子どもたちを見た時に、子どもたちが大きな世界で活躍できるようなそういう教育環境をなんとしても作っていきたいということで、私も大きな熱意をもってこの仕事に臨ませていただきたいと思っております。

議会の方からもたくさん声も聞いております。町民の方からもたくさん声を聞いております。しかし、これは今の町政運営と併せまして、少子高齢化、人口減少ですね、そういうものと併せましてこれはいつしかやらなければならない、そういう八千代町にとって大きな大きな課題でございます。それを今、この我々のこの世代がなんとしても解決し将来に向けて素晴らしい教育環境を作っていきたいと思っております。そういう思いで取り組んでまいりたいと思っておりますので、委員の皆様には本当に本当にお骨折りいただくかたちになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。ましてご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

司会（学校教育課長）：ありがとうございました。

3 部会長・副部会長紹介

司会（学校教育課長）：続きまして、部会長・副部会長の紹介に移ります。

委員の皆様には以前書面にてご報告しましたが、改めてご報告いたします。お手元の資料の1ページをご覧ください。

なお、副部会長につきましてはこの準備委員会のメンバーではありませんので、本日は出席いただいております。それでは読み上げさせていただきます。

（司会が名前を読みあげる）

どうぞよろしくお願いいたします。

4 議事

(1) 各部会の進捗報告について

司会（学校教育課長）：続いて議事に入ります。議長は委員長にお願いしたいと思います。委員長、お願いします。

委員長（議長）：それでは、次第により進めていきます。議事が円滑に進行しますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議事（1）各部会の進捗報告について、部会の取り組み状況について部会長さんからご報告をお願いしたいと思います。

それでは通学安全部会から順次お願いします。

通学安全部会長：進捗報告をさせていただきます。着座にて失礼させていただきます。

資料の2ページをご覧ください。通学安全部会ですが、令和7年の8月19日に第1回目の会議を開催させていただきました。協議内容につきましては、部会長及び副部会長の選出、今後通学安全部会の協議をどのように進めるか、内容としては通学支援に関する事について、そういったことを進めていくということを部会の方で確認をさせていただきました。

今後の検討内容としましては、大きな柱としては2つございます。1つは、通学路についてです。検討事項として、新設統合校への通学経路の確認、具体的には通学路上の危険箇所などが挙げられるかと思えます。

2つ目の柱として、通学支援についてです。検討事項につきましては、スクールバス。スクールバス運行の要否や対象者など、そういったものを今後検討してまいります。それ以外に検討事項がある場合には、随時検討してまいります。

今後検討を進めるにあたりまして、通学距離、通学時間等につきましては、文部科学省の公立小学校中学校の適正規模適正配置等に関する手引きを参考とさせていただきます。検討を進めてまいります。

なお、今後、第2回目の通学部会を12月9日に開催する予定です。以上、通学安全部会の進捗報告とさせていただきます。

委員長（議長）：ありがとうございます。続きまして学校生活部会の報告をお願いします。

学校生活部会長：学校生活部会より進捗状況をご報告いたします。3ページをご覧ください。

8月5日に第1回の会議を持ちました。検討内容は中ほどに記載されてますように、多岐に渡っています。そこで、学校生活部会はそれぞれ校長分科会、教頭分科会、

教務主任分科会、生徒指導分科会と分けて活動することになりました。

4ページをご覧ください。下の段に書かれていますように、校長分科会では各分科会の役割分担をしまして、それぞれの分科会が計画的に検討を進められるようにしました。

5ページをご覧ください。教頭分科会の方ではまず、修学旅行や宿泊学習について検討いたしました。修学旅行については、今の小学校6年生、来年度中学校入学の新1年生は、3年生になるときに統合の予定です。ですので、3年の時の修学旅行に向けて業者設定を、次年度の5月から6月にかけて、一中と東中の保護者代表と一緒に業者選定を行って業者を決定していかなければなりません。そこで協力体制をこれから取っていくところです。また、宿泊学習につきましては中学校では一中も東中も1年生で実施しております。来年度新1年生は宿泊学習を合同で実施する、そういう予定で計画を進めていきたいと考えております。

5ページの下の方をご覧ください。今後の検討内容では、小学校でも校外学習とか宿泊学習、こういったものを積極的に共同で実施できる方向で調整をしていくことを確認いたしました。今の現在の小学校4、5、6年生が統合の時の1、2、3年生になります。ということで、小学校の段階から積極的に交流を進めていきたいと考えております。

6ページをご覧ください。教頭分科会と教務主任分科会では、検討する検討内容が重複する部分が多かったので、すり合わせ、すみ分けをしました。そこで、中ほどにございます備品の確認では、次年度の夏休みを目安に予算の関係もありますので、学校教育課と連携をしながら一中の備品を確認していくことになりました。

7ページをご覧ください。教務主任分科会⑤の1番上にありますように、今後日課表の調整をしていく予定です。1日の流れについて検討して、スムーズな統合ができるようにしていきたいと思っております。

また、⑥にございますように、統合前の一中、東中の交流についても検討しております。先日、一中と東中の生徒会役員がオンラインで会議を行いました。そして統合に向けてどんな交流を進めているかを話し合いました。宿泊学習や修学旅行の他にも交流できるように計画的に進めていければと考えております。

8ページをご覧ください。8ページの中ほどにございます、生徒指導分科会につきましては、今後、この後説明がある総務部会で制服とか体育館シューズなど、そういったものが決まりましたら服装や持ち物について生徒の意見を反映できるように支援しながら、生活や学習の決まりを作り始める予定でございます。

以上、学校生活部会からの報告でした。よろしく申し上げます。

委員長（議長）：ありがとうございます。続きまして、総務部会の報告をお願いします。

総務部会長：よろしくお願ひします。資料は9ページになります。1. 経過についてです。総務部会ですが、現在までに計3回会議を持ちまして、活発な意見が交わされております。

検討内容なんですが、9ページ中ほどにありますことを中心に話し合っていくつもりでいるんですけども、まずはじめに学校名と制服・体操服等についての検討が必要であろうということで、この2つについて現在話し合いを進めております。

2. 学校名についてなんですが、総務部会において皆さんの意見等お聞きしまして意思確認をしましたところ、校名を広く募集する、そしてその広く募集したものの中から総務部会にていくつか絞りまして、最終的にここの統合準備委員会でいくつか絞りまして教育委員会に推薦する形を取りたいという風に考えております。

3. 制服や体操服等についてです。制服や体操服につきましても、総務部会の皆様の意見をお聞きしまして、新たに制服・体操服を作るような形で考えております。新しい制服・体操服を作るにあたりましては、児童生徒、保護者、そして教職員の意見を取り入れるため、アンケートを取りまして進めていきたいという風に考えております。

導入時期ですが、基本的には令和10年度で考えております。制服・体操服につきましても令和10年と考えているんですが、今の小学校5年生ですね、ちょうど統合の時中学校2年生を迎える児童につきましては早めに着れないかというような意見もございまして、ただこれがどれぐらいのタイミングでできるかというはまだ先が読めません。アンケートの結果をまとめて仕様書等を作って業者の方に発注して、どれぐらいの期間がかかるかというのはまだ読めないものですから、その辺については今後検討していくつもりでおります。10年度の制服の取り扱いにつきましては、新1年生については新しい制服を着用することになりますが、2年生、3年生は学年途中での統合の該当生徒につきましては新しい制服の着用は求めないというようなことで考えております。

それと、小学校6年生についてはこの後それぞれの中学校で説明会とあるんですけども、その説明会におきまして、6年生と保護者を対象とした制服の着用についての説明を予定しております。その他、上履き、体育館履き、通学用ヘルメット、教科書用バッグ等については今後検討していきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（議長）：部会長さん方、ありがとうございました。ただいま報告のあった各部会の進捗について委員の皆さんからご質問のある方はいらっしゃいますか。

委員A：これは、校名の問題がありましたが後でやるんでしょうか。

委員長（議長）：校名についてはあとでやります。その他、何か気がついた点とかあれば、せっかくの機会ですのでお願いします。まだ途中経過ということでございますので、まだまだ決まったわけではないんですが、いかがでしょう。

（その他質疑なし）

委員長（議長）：質問が無いようであれば、今後も引き続き部会での調査検討をお願いしまして、次に進みたいと思います。

（２）校名の公募について

委員長（議長）：それでは次に、議事（２）校名の公募について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：ご説明させていただきます。資料 11 ページにお進みいただけますでしょうか。

（２）校名の公募についてでございます。こちらですね、先ほど総務部会長よりご報告ございましたとおり、八千代町立新設中学校の校名を募集する要項でございます。

内容につきましては、１．趣旨といたしまして、新しい中学校が子どもたちの学びの場としてだけでなく、地域コミュニティの基礎として地域活動や交流の拠点、さらに災害時の防災拠点として地域に広く親しまれるよう名称を募集するというものでございます。

３．募集期間につきましては令和 7 年 12 月 26 日（金）から令和 8 年 1 月 31 日（土）までで、４．応募資格は八千代町に在住または八千代町内に在勤、在学の方としてございます。

ちょっと飛ばしていただきまして、次の 12 ページにお進みいただけますでしょうか。一番上の 6．校名の基準でございます。（１）新しい中学校にふさわしく、親しみやすい学校名であること、（２）呼びやすく、覚えやすいものであること、（３）八千代町の地域イメージに合っているものであることとしております。

７．選定方法につきましては、寄せられた校名案の中から八千代町立中学校統合準備委員会総務部会でまず候補を選定いたしまして、八千代町立中学校統合準備委員会、こちらの会議で審議いただきまして、八千代町教育委員会へ推薦するという方法でございます。ですので、公募の方で多かった校名を採用するというものではなくてですね、応募があった校名の中から総務部会でいくつか候補を選定いたしまして、皆様方の準備委員会でさらに選出をいただいて、町へ推薦いただくという方法となっております。

ございます。公募と言いましても、人気投票ではないというところでご理解いただければと思います。

9. 応募方法につきましては、応募用紙にご記入またはQRコードから応募いただく形を想定してございます。応募用紙にご記入いただく場合につきましては、下の①から④のところがございます、八千代町役場 1 階総合案内もしくは中央公民館事務室前、八千代町立図書館カウンター、歴史民俗資料館にそれぞれ応募箱を設置いたしまして、そちらに投函いただく形となります。

また、(2)の郵送、FAXについてもお受けするほか、(3)応募フォームの方でURLまたはQRコード、すみません、こちらまだホームページの方は完成してございませんので、ホームページができましたらこちらにQRコードとURLを記載したいと考えております。こちらの記入いただく応募用紙につきましては、次の13ページ、14ページにお付けしてございますので、お目通しいただければと考えてございます。

また、学校さんの方でも児童生徒さんには学校からメール等で募集を呼び掛けていただくほかですね、生徒会活動や学級活動等でも話し合う機会を設けていただくことをお願いしたいと考えております。

説明は以上でございますが、こちらの要項の策定にあたりましては、総務部会の方で2回に渡りまして部会員の皆様で本当にたくさんのご意見をぶつけ合っていて、検討していただいて作成いただいております。準備委員会の委員の皆様におかれましてもご理解とご協力をお願い申し上げまして、事務局の説明とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

委員長（議長）：ありがとうございます。総務部会長さん、補足等ございましたらお願いします。

総務部会長：一般に公募するということで、広く地域住民の方にお知らせするというところで、各行政区長さんの方から各行政区に回覧等で回していただいて、公募の方法を周知していただくという形を取ることになると思います。できるだけたくさんのご意見をいただきながら、適切なものを総務部会の方で絞っていきたいという風に考えております。以上です。

委員長（議長）：それではただ今の内容につきましてご質問のある方いらっしゃいますか。

委員 A：今校名の問題が出まして、私は中結城小学校、中結城中学校を卒業して今の社会人になっています。途中から八千代一中、東中ができて、そこに立場立場でその中学校でおられる方でも、その卒業生だと、俺一中だと俺は東中だと、そういう流れ

を持ってる方もいるかと思えます。

私ひとつ思っているんですが、まず八千代一中ができた。で、多分その時は川西、西豊田の小学校の人たちは入らないで、その後から来ると。なんで一中ってつけたのかっていう話になればおそらく、川西と西豊田の東中学区を二中に、という意図があったんだろうと思うんですよ。想像ですよ。それが本当のことかわかんないですが。そういう流れからしますと、多分東中学校とか肥土地帯の人たちは、二中じゃダメだという話になって、苦肉の策が東西南北の東、言わば東の方に寄ってるから東中だと。ここにおられる方々の中に、その時立ち会った人は誰もいないと思うんですけども、今想像するのはそうだろうと私は思っているんです。ですから多分八千代一中の安静、中結城、下結城の人たちが「一」で俺らが「二」というのは無しだと。そういう話で、東西南北の東、東をとって、折衷案でこの名前がつけられて何十年もの歴史を来たと思うんですよね。

今回の問題はね、ある時期に来て人口の問題から小学校、中学校の人数がぐっと減ってくるという流れから、5つの小学校から集めてひとつの中学校にっていう風になった時に、じゃあ校名どうのこうのっていう話になると思うんです。これからまだまだ少なくなってくる流れからすれば、私は何も一中とか東中、123、東西南北、そういうものからもこの際離れて、私は1つの中学校にまとまっていくっていうことあれば、八千代町立八千代中学校じゃまずいのかと。それが1番私は平等だと思うんですよ。

無理してアンケート取って付けた名前なんかじゃ、私ら議会でも承認しないですよ。これからまだまだ出てくるわけですから、八千代町立八千代中学校、八千代町立なんとか中学校より八千代中学校で私はいいんだと、私はこういう考え方と思っています。わざわざ無理やり名前を公募して誰が好きで選ぶのか分からないやつでアオイ中学校なのかあるいはまた何々中学校なのか、私は将来のことでわかりませんが、この際、私は八千代町立八千代中学校。それで私は5つの旧村単位の人たちの溜飲っていうか喉のつかえはそのままおっているとってます。今更無理やり公募して何百人から青空なんとかって来るかどうかわかりませんが、1番有望なのは八千代町の八千代中学校です。私はそれがいいと思います。

委員長（議長）：ありがとうございました。その他、何かご意見等ありましたらば。それでは総務部会長さん、お願いします。

総務部会長：はい、貴重なご意見ありがとうございます。総務部会の中ではですね、できるだけたくさんの方からご意見を伺いたいっていう風な意向を皆さん考えてらしたっていうのが現状であります。

私も総務部会長として、どのような意見が上がってくるかというのは、これはです

ね、先ほど事務局の方からもありましたけども、人気投票とかそういうわけではなく、上がってきたものの中からこれがいいだろうということで、総務部会の中で話し合いをするという形になります。まだ候補があがってきていない段階で、どういうものかいいのかっていうなこともちょっと述べるのはちょっと早々かとは思いますが、たくさんの方からご意見を伺いたいというのが総務部会の方の意向であります。

それと、総務部会の中での話し合いの中で、中学生、それと小学校高学年の子どもたちに、自分たちの中学校としてこういう名前がいいんじゃないかっていうことで話し合う機会をぜひ設けたいという風なことがありました。

そういったことも含めて、自分たちの住む町、八千代町に、これからですね、広く長く中学校は続くわけですから、それにふさわしい名前はなんだろうかというようなことで、中学生や小学校高学年の子どもたちに向けて、自分たちも色んなことを考えながら決め、アイデアを出していければいいという風なこと、ご意見もありました。

いずれにしても、様々な意見をお聞きした上で、総務部会の中でこういったものかいいかということ話し合いたいということが総務部会の総意でございます。以上です。

委員長（議長）：はい、ありがとうございました。

委員 B：中学校は、東中と一中の統合があって、さらにその 3 年後に小学校の統合があるじゃないですか。他の市町村のなんとか学園みたいに、9 年間の学校に最後はなるのかとか。中学校は中学校、小学校は小学校で、別のまま進んでいくのかっていうのは、決まってるんでしょうか。

それでもし、中学校にそのまま小学校がくっつくみたいな形になって、9 年っていう形になるのか。そうすると小学校の名前を 3 年後にまた名前を決めたりとかっていうことがあるとすると、またそこで何か変わったりすることがもしあったりするのかなっていうのは、ちょっと気になったことではあったんですけど。

教育長：今のご意見なんですけれども、基本的に小中別々という形ではあります。一緒になるってのは、いわゆる義務教育学校という形で 1 年生から 9 年生までということになるわけなんですけれども、町としましては、小学校、中学校という形で置いて一貫した教育はしていきますけれども、1 年生から 9 年生という形は今のところ考えてはいないというところでございます。

この件につきましては、この統合準備委員会の前段階の学校のあり方検討委員会等で揉んでいただいて、最終的に町に対して提言書をいただいたという中で、そのような形になっているところでございます。

委員 B：そうですか。はい、わかりました。

委員 C：はい。校名については、こう広く募集するというようなことで、それが一番いいかと思うんですね。今この準備委員会で、何々中学校じゃなく八千代中学校とか色々言うよりも、広く募集をして、皆さんの意見を聞いた上で、こう最後はこの準備委員会で決定するっていうか、そういう形になるかと思いますが、我々が今ここで何にしようかどうのこうのっていう段階じゃないと思いますよ。

だから、さっき総務部会長が言われたように、広く、この記載されてるとおりで進めていけばいいんじゃないかと思います。以上です。

委員長（議長）：はい、ありがとうございます。他にご意見等ありますか。

委員 D：私は八千代町立の学校だから、やっぱり八千代中学校という、A 委員さんの言うように八千代中学校でいいのかなと思うんですが、私の意見としては。

委員長（議長）：はい、ありがとうございました。

委員 E：ひとつ良いですか。学園制にするのか、あくまでも別々の学校で同じ場所に作るということなのかははっきりしてるんですか、教育長お願いします。

教育長：今、B 委員さんの質問にお答えしたように、小中学校で一貫した教育ではありませんけれども、小学校は小学校、中学校は中学校という風に考えているところでございます。

委員 E：あくまでも別ということですね。わかりました。

委員長（議長）：その他、何かございますか。無いようであれば、先ほど部会長さんがおっしゃいましたように、広く意見を聞くということで、また、すぐ決めるわけではないので、広く意見を聞く公募という方向で実施することによってよろしければ皆さんのご意見をいただきたいんですが、いかがでしょう。

委員 A：ここにいる方々ね、旧五ヶ村の出身の人もいるわけですが、基本的に八千代町の中で下結城や安静、中結城だとか旧村単位で、いろんなことを切磋琢磨してみんな生きてきたわけですし、またこれから大事なことで、肥土と野方とのまた生き方と、またそういう流れもあるわけですが、今回の校名選考の部分は、どの時点で、言わば中学校、一中と東中に向かっている子どもたちが 1 つにしなければならぬ時が来

るのか。

これ、まず1つの大きな、あと2年後はどうするのか、5年後なのか、10年後なのかね、その辺のところ、私は、こういう流れからすれば、八千代町でやるのであれば、言わばこれからのね、名前の中でも、八千代という名前にすることが一番私は平等だと思うんですよ。

それはなぜかっていうと、一中ができたのになんで二中はないのか。さっきも言いましたけどね。なんで二中じゃなかったのか、本当は一番これがよかったわけですよ。ということは、そこに言わば、川西、西豊田学区のその当時の議員さん方がとんでもないと、俺らの方が「二」というのは無しだ、ということの中で、東西南北の、俺ら方は東で、鬼怒川から東でよかっぺという折衷案で八千代町立第一中学校、東中学校というのが私はできたと思うんですね。

ですから、そういう流れからしますと、私からすれば、地域性というものの流れからすれば、八千代の人数はね、まだまだ減ってくると思いますよ。

ですから、私は、八千代町立八千代中学校も、八千代っていう名前だから、一中の方の八千代だけが残るのは俺らの方は嫌だって東中の人言うかも分からないですが、でも八千代一中っていうのがついてるわけですから、片方は東だ西だと言ってないで、とりあえず八千代ということで行こうという、そういう流れを作っているんじゃないかね。これからアンケートとったり何かして、まとまることなんかあり得ないです。そういうことをやること自体が私は間違ってる、はっきり言っておきます。

委員長（議長）：はい。この他に皆さんのご意見ありますか。

委員F：中学校の名前に関しまして、さっきB委員が言ったように、9学年制、学園とかそういった感じにならないとおっしゃったんですけど、募集をするにあたってそれを言っておかないと、同じ場所に中学校、現在の第一中学校のところに小学校建設してって考えると、大体の人は9学年繋がると思うんですよ。

それをはっきり繋がりませんって言っちゃって募集をかけた際に、じゃあ小学校は別にそこじゃなくていいじゃん、連携は離れてもできるでしょってなっちゃったら、その名前がめんどくさくなっちゃうんで、そこははっきり同じ場所だけど、小学校、中学校は別々で、名前も別々って形でちゃんと言わないと。これ、なんとか学園とか、八千代学園とか本当に決まっちゃいます。

さっきA委員さんが言ったように、ほぼほぼ八千代中学校だと思います。出てくるのは。この流れでいくと、大体一中とか東中とか。1がついたから、その後に2って普通は嫌ですもんね。そうすると、じゃあ東ってなります。最初に一中は1ってつけちゃう。それはそうですよね。おそらくそれをみんなはわかってるんで、八千代中学校って書いてくると思います。ただ、いろんな人に周知してもらいたってのが

あって、こういったのを出してるんじゃないかと私は思います。その際に9学年になるんじゃないかって思ってる人がいたら学園は出てきますよ。そこはアンケートを取る前にはっきり言うべきだと思います。以上です。

委員A: アンケートをとるのはちょっと待った方が良いでしょう。はっきりそこだけ言っとく。で、これから増えるんじゃなくて減る一方なんかもんな。

委員長(議長): 今、公募についてアンケートという風な形で、表現でありましたけども、待ってた方がいいという意見もあるんですが、どうでしょう。

これは、公募そのものは別にしても、決定はまた別の話ですからいいんじゃないかと思うんですが。

ただ今回、F委員が話したように、大半の人は多分八千代の中学が1つになるから八千代中学校っていう、大体の基準的にはそこに何かつくかもしれないですけども、そういう風になってくるのかなっていう推測はできるんですが、どんな意見があるか。やっぱり広く一般に町民誰もがこう名前をつけるのに参加できるような方法ということで、公募という形をとるということです。一応その公募については進めていただいて、その公募の中からまた選出する場合には、また皆様のご意見を伺って、その公募の中で選ぶ話ができるかと思うんで、そんなことで一応公募を進めるといってどうでしょうね。

委員C: 今F委員さんが話したように、学園というのでは1つのあれになっちゃうから、別々の中学校であるということだけはちゃんと言った方が良いでしょう。募集要項の中で。

委員長(議長): 公募の条件としてね。

委員C: 一緒だと思われてしまうと混乱を招いてしまう。その結果が八千代中学校であれば別に問題はないだろうけど。

委員F: これを公募して、いつの間にか勝手に決まったよってなっちゃうのも面倒なので、とりあえずやって、参加してるって形になってもらえれば。

委員長(議長): とりあえず、今日のこの会議の結論といたしましては、公募はして、多分にして八千代中学校とか、そういう名称が多分、多くなるんだろうと予想できますので、広く一般から誰もが参加できるような形でその公募の校名の道を開くということで進めて、ただ、先ほどF委員からもありましたように、その学園という風な表

現になってくると、1つの中学校、小学校が重なってしまうということなんで、その辺もちょっと公募の要項の中で事務局の方で部会長さんと一緒に検討していただいてやっていただくということで、とりあえずは公募の方を進めるということによろしいですかね。

(委員承諾)

委員長(議長): はい。じゃあ、そのような形で進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。はい。それで、議事については以上です。

委員 G: ちょっとお願いなんですけども、スクールバスを一応使うってというような方向に行ってると思うんですけど、3年後には小学校が来るわけなんです、予定では。ですから、中学校でスクールバスを検討するときに、一緒にもう小学校ができるってことを前提にですね、こういうパターンで流れますよっていう。

それで、もし次の部会の時にも考えてもらって伝えてもらえるようにしてもらえれば、我々がこう行政区の中で今度小学校がそっち行きますよっていう時に、その時はこういう流れのバスというかなんというか、中学生がこれ見ると6キロ、小学生で4キロになると、そういうようなことになってんですけど、単純にこれ一緒でもいいんじゃないかなっていう風に思うんですよ。

我々のようなちょっと遠いところから来る人にとっては、6年生と中学校1年生っていうのは大して差もないんで、そういうところもちょっと検討をっていう形でね、していただけないかなという風に思うんですけど、ぜひよろしく願いします。

委員長(議長): はい、ありがとうございます。

事務局: では、委員長、いいですか。

委員長(議長): はい。じゃあ、事務局の方から。

事務局: ただ今いただきました意見につきましては、この後、通学安全部会の方ございますので、そちらの方に、統合準備委員会の方でこういう意見が出ましたということでお話して、協議してもらおうという形で進めさせてもらってよろしいでしょうかね。

委員 G: ぜひ。

事務局：はい、わかりました。はい、ありがとうございます。

委員長（議長）：じゃあ、事務局の方はよろしいですか。

事務局：はい。

委員長（議長）：それでは、以上で、議事の方はこれで進めたいと思いますので、議長を下ろさせていただいて、進行は事務局にお返しいたします。

5 その他

司会（学校教育課長）：委員長、ありがとうございました。それでは、続きまして、その他ということで、事務局の方から2点ほどご連絡させていただきます。

事務局：はい。その他でございますが、事務局の方から2点お話をさせていただければと思います。

まず1点目、通知の送付方法についてでございますが、こちらは主にPTA会長さん方へのお願いでございます。今現在ですね、通知や資料をですね、郵送で送らせていただいているところなんですけれども、ちょっと学校さんの方からですね、今年度につきましては、学校さんを通してですね、児童生徒さん、お子さんの方から受け取っていただくという形でちょっとお願いできればと考えておりますので、その点ちょっとご了承いただければと思います。

2点目、次回の準備委員会の開催時期でございますが、こちらですね、校名であったり、その他部会の進捗がある程度出揃いましたらまた開催させていただくということで、ちょっと時期は今のところまだ未定ではございますが、また年度内にお願ひできたらと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

その他につきまして、事務局の説明は以上でございます。

司会（学校教育課長）：ただ今事務局の方からその他につきましてご説明させていただきましたが、何かご質問等ございますでしょうか。

（質疑なし）

6 閉会

司会（学校教育課長）：それでは委員の皆様には長時間にわたりまして貴重なご意見、ご審議の方、ありがとうございました。

以上を持ちまして、第2回八千代町立中学校総合準備会を終了とさせていただきます。

ます。

皆さん、大変お疲れ様でした。